



開催趣旨

平成25年2月に、津和野町では後田地区の一部を「津和野町津和野伝統的建造物群保存地区」に定め、この保存地区が平成25年8月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから、令和5年でちょうど10年目の区切りの年を迎えました。

この保存地区は、江戸時代に整備された地割をほぼそのまま残しており、「武家地」であった殿町通りから、「商人地」であった本町通り・祇園丁通りに続くメインの通りと、この通りから1本入った万町通り、新丁通り、そしてそれらの通りをつなぐ4本の通りから形成されています。選定されてから10年間で、修理20件、修景4件の事業に取り組んでおり、次第に歴史的な町並みが整ってきました。

このたび、重伝建地区選定10周年を記念して、これまでの取り組みをふりかえり、これからの町並みの活用を目指して、記念シンポジウムを開催します。

基調講演者の紹介



矢ヶ崎 善太郎氏

大阪電気通信大学教授・津和野町伝統的建造物群保存地区保存審議会会長

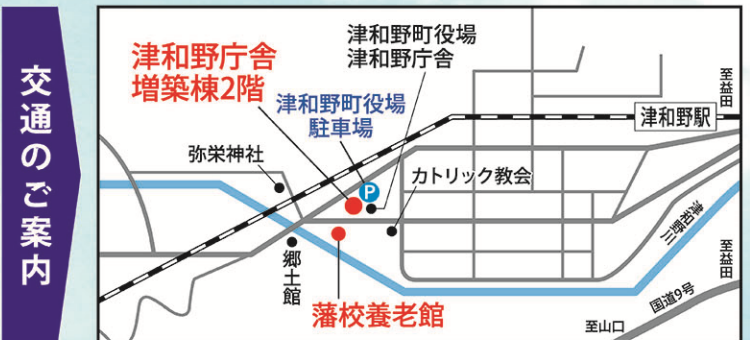
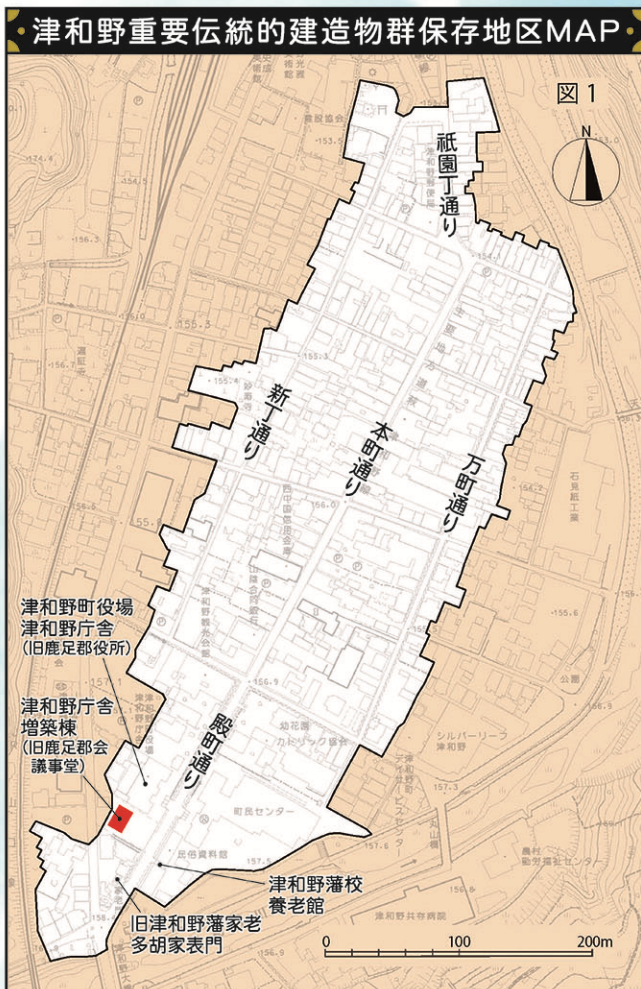
1958年長野県松本市生まれ、博士(学術)、文化庁文化審議会専門委員、京都府文化財保護審議会委員などをつとめる。茶室や数寄的な空間を中心に、国内外各地で伝統建築を調査し、歴史的・文化的価値の継承と新たな価値創造のための実践的研究を行っている。『庭と建築の煎茶文化』思文閣出版、2019年(共編著)、『図説 日本建築の歴史』学芸出版社、2020年(編著)など。



北島 力氏

NPOまちづくりネット八女 理事長

1952年福岡県八女市生まれ、1970年八女市役所に入職。42才から八女福島の町並みの担当部署に通算16年間勤務して、住民とともにまちづくり活動。2012年都市計画課長を最後に退職。現役時代から「空き町家再生活用」、「伝統建築技術の継承」など八女福島の町並みの活動を担う多くのNPO法人を立上げ、仕組みづくりに奔走。町並みに移住しその活動に磨きをかけている。2016年「自治体学会賞・田村明まちづくり賞」、2017年「日本建築学会文化賞」を受賞。



■ 津和野駅より徒歩10分 お車で越しの場合は津和野町役場駐車場をご利用下さい